

# 常盤の翠

志・寛・録

第27代校長 寺園 伸二

発行 令和2年3月12日  
卒業記念特別号  
鹿児島市立伊敷中学校

初めての担任は小学校三年生でした。「学校でN子ちゃんの声が聞いたことないよね。」と同級生が話すくらい寡黙でおとなしいN子さんは、農業で忙しい両親に代わって家事や小さい弟たちの面倒をみるのが日課で、学業の方は厳しい状況でした。私は、彼女のために特別に課題を準備して個別指導をしました。胸を張って彼女への助けになったとはとても言えません。でも大学を卒業したばかりの私には、それが精一杯だったのです。

学年は活気があり、明るく元気な子どもたちのおかげで、苦しみながらも楽しい三年間を過ごした後、二校目は種子島の学校でした。夏休みには最初の教え子たちが、種子島まで泊まり込みで遊びに来てくれて、全部で十人以上の子どもたちと雑魚寝をしながら過ごしました。私はそれがとても嬉しく、結果、自分は割と「いい先生」かも知れない、などと恥ずかしい勘違いをしたのかも知れません。

た。その瞬間を私は忘れることができません。「自分はなんと優しくなかったのだろう。遊びに来てくれた教え子たちとの楽しい時間には目が向いて、苦しい中で努力している他の教え子たちの中には思い出しもしなかったのではないのか。それなのに、N子さんはそんな私を覚えていてくれた。初めてもらった大切なお給料を使って、今でも思い出すたびに胸が苦しくなります。私の教育に対する、子どもたちに対する見方や考え方が、劇的に変わった瞬間でした。思えば、私はあの時、「いい先生」になろうと決心したのです。そして心の中で約束しました。「N子ちゃん。僕は必ずいい先生になるからね。」

私はこの三月末で37年の教員生活を終えて定年退職を迎えます。私はずっと「いい先生」になりたいと思いいつ努力し続けてきたつもりです。「いい先生」になりたいと強く願い続けた教員生活でした。今、終わりを迎えて、約束を果たせたのかがとても気がかりです。「N子ちゃん。僕は『いい先生』になれただろうか。」

伊敷中学校の皆さん。私は教員生活の最後が伊敷中学校で本当に幸せでした。皆の明るく元気な姿を見て、教師になってよかったと心から思える毎日でした。皆は私の自慢の生徒たちです。皆のこと忘れません。皆は本当に優しかった。ありがとうね。



## 黄学年 三年 (みとせ) の歩み



H29. 4. 6 入学式



H29. 6. 2 一日遠足



H29. 7. 7 音楽コンクール



H29. 7. 12 甲突川生態調査



H29. 9. 24 体育大会



H29. 11. 2 文化祭



H30. 10. 16 修学旅行



H30. 9. 23 体育大会



H30. 7. 10 音楽コンクール



H30. 5. 12 スケッチ大会



H30. 4. 26 志向の日



H30. 3. 19 クラスマッチ

### 1年



### 2年



H31. 2. 8 立志式



H31. 4. 15 部活動紹介式



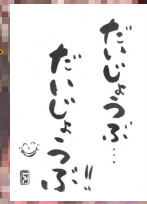
R1. 5. 8 生徒総会



R1. 5. 31 研究公開

平成から令和へ

### 3年



R2. 2. 20 志成の日



R1. 11. 1 文化祭



R1. 9. 23 体育大会



R1. 7. 12 音楽コンクール



R1. 6. 27 読み聞かせ

卒業おめでとう!